

兵庫県還暦軟式野球連盟
2023年度リーグ戦

『 審判員のガイドライン(試合時の注意事項) 』

令和5年度版の兵還連が提示するガイドラインの変更により、『審判員のガイドライン(試合時の注意事項)』も変更するが、試合時のコロナ対策はコロナが完全に収束したのではないことを念頭に、原則、各個人の判断と責任のもと、怪我防止、及び、熱中症予防のため次の事項を遵守し、公正・公平な立場でプレー進行を行う。

1、試合前の準備

- (1) 審判員控室、又は、本部席のある球場の場合は、部屋の換気をする。
- (2) 審判員は怪我防止のため、ウォーミングアップを行いう。同時にグラウンドの状況等を確認する。
- (3) メンバー交換や打ち合わせが必要な場合は、審判員、及び、監督はマスクを着用して行う方が望ましい。
- (4) 試合開始前には両チームのヘルメット、バット、グラブ等の点検を行う。

2、試合開始にあたって

- (1) 試合開始の挨拶はホームベースを挟み、バッターボックスの外線に沿って、監督・主将・選手の順に整列して行う。なお、当面は監督・選手間の握手は行わない。
- (2) 開始挨拶後、監督・コーチ・スコアラー、及び全ての選手はベンチ内ではマスクの着用が望ましい。
- (3) 試合時のグラウンド内ではマスク着用は個人の判断に委ねるが、熱中症予防のために、高温時のマスク着用には留意すること。
- (4) 投手のロージンは、ホームチームが用意しマウンドに置く。

3、試合時の対応

- (1) 攻守交代時に守備側はピッチャープレートにボールを置くこと。
- (2) 球審への捕球ボールはボール袋に直接入れてもらうこと。
- (3) 高温時の試合では、熱中症予防のために適宜給水タイムを入れること。
(2～3回)また、審判員は冷却剤やタオルを用意し、グラウンド内の隅に置いておくなど、特に、球審は水分補給に留意すること。
【令和2年度より、高温時の試合では審判員の健康面を考慮して、両監督の承諾を得て試合中に審判員の交代が認められていることを定めた。】
- (4) 守備側がタイムを取りマウンド上で集まる時は、口元にグラブを当て話す方が望ましい。

4、試合終了にあたって

- (1) 監督・主将・選手の順にボックスの外線に沿って整列して行う。なお、終了後も当面は監督・選手間の握手は行わない。 _
- (2) 試合終了後、手洗い・アルコール等による手指の消毒を行い速やかに退場する。

5、その他

- (1) 当日担当の審判員は発熱等体調が優れない時は、責任審判員に申し出、交代要員を派遣すること。
- (2) 車での乗合で移動する場合、窓を空かしマスクを着用する方が望ましい。
- (3) 各球場で感染防止の指標が出されている場合は、それを厳守すること。

上記事項は5月8日より実施する。



by n.kawano

令和5年4月28日
兵庫県還暦軟式野球連盟
理事長 安田 昭人
審判長 端 治彦